

議長に鎌田篤司議員 副議長に伴捷文議員を選任

5月14日の議案審議の終了後、土屋善旦議長の辞職に伴い、議長の選挙が行われました。投票の結果、鎌田篤司議員が第56代議長に当選しました。

続いて、波多野努副議長の辞職に伴い、副議長の選挙も行われ、投票の結果、伴捷文議員が第58代の副議長に当選しました。

各委員会の内容は

●常任委員会

市の事務の部門ごとに置かれ、それぞれの部門に属する事務の調査を行うとともに、議案、請願などの審査をします。

各委員会の主な担当事項は次のとおりです。

○総務委員会

行政の総合的な企画・調整、予算、財産、消防など。監査委員、選挙管理委員会に関する事など。他の委

員会に属さないことは総務委員会を担当します。

○経済委員会

観光、産業振興、道路、河川、公園、都市開発、上下水道、区画整理、競艇事業など。

○文教委員会

市民生活、健康、福祉、市民病院、教育など。

●議会運営委員会

議会運営を円滑に行うために置かれ、会派間の意見調整と会議を能率的に進行

させる役割を担う委員会です。

他の委員会が所管の議案等を審査するのに対し、議会運営全般にわたる事項を審査するのが特徴です。

●国道23号蒲郡バイパス建設特別委員会

市街地の交通緩和と観光及び産業経済活動の活性化に期待される国道23号蒲郡バイパスの諸問題の調査研究と早期建設を図るために設置されています。

就任 あいさつ



議長 鎌田 篤司



副議長 伴 捷文

日ごろから市政全般にわたり、市民の皆さまには温かいご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび、私どもは、5月市議会臨時会におきまして、議長・副議長に就任いたしました。その重責を担うとともに、職務の遂行に全力を傾ける所存でございます。

最近では、政府が「景気底打ち宣言」に踏み切りましたが、企業の業績不振を背景に完全失業率は5%の大打に乗り、所得環境も急激に悪化しています。雇用・賃金環境の悪化から個人消費の持ち直しも力強さに欠け、実際の景気実感は、「底打ち」にはほど遠いものとなっております。

このような時こそ、限られた財源をよりいっそう重点的かつ効率的に運用し、市民の皆さまの要求・要望を市政に反映させることが必要となってきます。

そのために市議会の果たす役割は非常に重要です。議決機関として皆さまの意思を迅速に察知し、市政に反映させていくことと、また、皆さまの代表として市政運営の監視機関であることも十分認識しなければならぬと考えています。

私たちの蒲郡をいっそう住みよいまちにするために頑張りますので、皆さまのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

5月臨時会で審議された議案の一覧

5月13日・14日

- 専決処分の承認
- ③② 市税条例の一部改正
- 条例の一部改正
- ③③ 市税条例等の一部改正
- 同意
- ③⑤ 監査委員の選任
- その他
- ③④ 工事請負契約の締結（形原中学校南棟校舎新築工事）

5月28日

- 条例の一部改正
- ③⑥ 市職員の給与に関する条例等の一部改正
（○内の数字は議案番号。③⑥は賛成多数で、それ以外は全会一致で可決・承認されました。）